教員名	篠塚　英子 （SHINOTSUKA　Eiko）
所　属	文教育学部人文科学科比較歴史学講座
学　位	商学博士 （慶応義塾大学）1990
職　名	教授
URL ／ E-mail	shinotsuka.eiko@ocha.ac.jp

◆研究キーワード

労働経済学　／　ジェンダー研究　／　金融政策　／　外国人労働　／　中国・韓国パネル調査

◆主要業績　　総数 （ 5 ）件

・対談「格差社会を考える－「格差」発生の背景と対策」伊東光晴氏 （京都大名誉教授）
財・市川房枝記念出版部『女性展望』8 月号、2006 年 8 月号. pp.5-10.
・「世帯類型にみた北京夫婦の働き方－低収入でも専業主婦世帯が微増している背景」
お茶の水女子大学ＣＯＥプログラム報告書、F-GENS Publication Series NO.6
『家族・仕事・家計に関する国際比較研究　』中国パネル調査第 3 年度報告書、第 10 章、近刊
・「女性のキャリア形成とメンタル・ヘルス－女性の労働市場参加と留意すべき課題」
お茶の水女子大学 21 世紀ＣＯＥプログラム
『お茶の水女子大学Ｆ- GENS ジャーナル』Ｎｏ．７　、2006 年 3 月。pp. 261-267.
・「3 年継続回答の有配偶者の就業タイプと収入」」
お茶の水女子大学ＣＯＥプログラム報告書、F-GENS Publication Series NO.5
『家族・仕事・家計に関する国際比較研究　』韓国パネル調査第 3 年度報告書、2007 年 2 月、第 2 章、pp. 16-24.
・「グローバル社会への関心と女性学生のキャリア志向」篠塚英子・加賀美登美代、
『お茶の水女子大学人文学紀要』第 3 号　、2007 年 3 月 pp.157-188

◆研究内容

論文では平成 15 年度採択 COE プログラム、お茶の水女性大学 F-GENS　Publication　Series『家族･仕事･家計に関する国際比較研究』韓国 3 年度報告、中国 3 年度報告に　パネル調査分析の報告論文を執筆した。グローバル文化学環における 2 年目実施の学生の国際意識調査の分析を､加賀美登美代氏と連名で 2 本執筆、『お茶の水女子大学学人文学紀要』3 号に投稿した。さらに「女性のキャリア形成とメンタルヘルス」や「格差社会を考える」など合計 10 本の論文になった。学会報告では、韓国の聖潔大学で「日本の男女平等がなぜ進まないのか」、同志社大学で「労働組合におけるジェンダー平等」を報告した。お茶大･イタリア大使館主催の『女性と社会―日本とイタリア』において司会、鎌倉市民アカデミア、世田谷フォーラム、国際金融研究会などで「格差社会」をテーマにした講演を行った他「女性と金融」、「高齢化社会の未来」等計 11 回の講演を実施した。

◆教育内容

授業では昨年に引き続き、学生の授業感想カードを書かせ、学生全員に回答する作業を実施した。授業開始前に主要なものを紹介した結果、「質問に回答があっただけでなく、自分の意見がみんなにも紹介してもらったのがうれしかった」という反応が大きかった。経済学の授業では毎回その日のビッグニュースをコピーし解説した。新聞を読む割合は 1 割以下という乏しい状況であり、社会常識の欠如に危機感を抱いた。
「企業･企業論」では昨年度の反省から、18 年度は外部講師を 3 人に絞った。その代わり学生でグループをつくり講師の業界、仕事内容、生き方などを事前にグループ討議することを実施した。これは好評であった。
「グローバル化と労働」では事前にテキストから課題をだしておき、4~5 人のグループで討議をし、その結果を全員の前で発表することでひとつの結論をまとめる作業の難しさと面白さを体験したようであった。

◆受験生等へのメッセージ

本学は法学や経済学、政治学などの社会科学系の学部がありせんが、文教育学部と生活科学部にはこれらを専門とする教員がかなりおります。そして新たな試みで学部を超えて副専攻という選択も出来ます。グローバル文化学環はこうした新しい試みで 16 年度新たに設立されました。ぜひホームページを覗いてみてください。